



北海道発の国産換気システム「ATバリア」国土強靱化を支える取り組みで



ジャパン
レジリエンス
アワード
2026

最優秀賞

今夏には**世界初**のCO除去機能実現へ

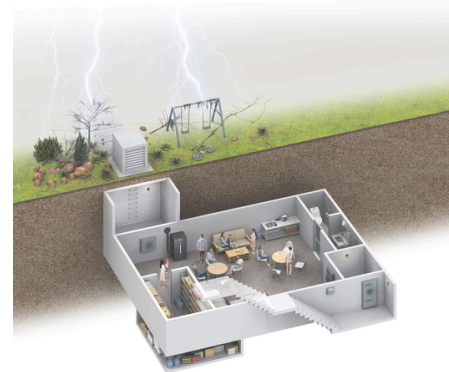
プロテクトアーツ株式会社(ヤブシタグループ、本社：北海道札幌市、代表取締役 小熊正輝)が開発を手がける国産換気システムATバリアが、「**ジャパン・レジリエンス・アワード**」で**最優秀賞**を受賞し、国土強靱化に貢献する技術として評価されました。

政府は2026年3月、武力攻撃や大規模災害などの緊急事態を想定した避難施設、いわゆる地下シェルター等の確保に関する基本方針を閣議決定しました。地下街、地下駅、地下駐車場など、既存の民間地下施設の活用も含めた避難施設整備が進む中、今後は「避難する場所」の確保だけでなく、「避難先で安全に呼吸できる空気環境」をどう整えるかが重要な課題となります。

防災の次の課題は“避難後の安全”へ

ジャパン・レジリエンス・アワードは、防災・減災や国土強靱化に資する優れた取り組みを表彰するものです。プロテクトアーツが手がける国産換気システム「ATバリア」は、災害や有事の際に人が避難する空間の空気環境を守る技術として評価され、最優秀賞を受賞しました。政府は2026年3月に緊急事態を想定した「緊急シェルター」等の確保に関する基本方針を閣議決定しました。これにより、地下街や地下駅、地下駐車場など、既存の民間地下施設を避難施設として活用する動きが広がるが見込まれます。

ATバリアは、災害時・有事の避難空間における煙、粉じん、有毒ガス、臭気、感染症リスクなど、複合的な空気環境リスクの低減を目指す国産換気システムで、今回の受賞を機に、緊急シェルターや避難所のほか、医療・福祉や自治体などの施設でのさらなる活用拡大が見込まれます。さらに今夏には、世界初となる一酸化炭素(CO)除去機能の実現を予定しており、“**避難先の空気**”を守る技術として今後の社会実装に注目が集まります。



「ATバリア」シリーズの特徴

1. 災害・有事対応の換気・空気防護システム

避難所やシェルター、家庭などの閉鎖・半閉鎖空間で、安全な空気環境を確保できる。

2. 多層フィルターによる高い空気浄化性能

放射性物質やPM2.5、粉塵、煙、有毒ガス、臭気、ウイルス・細菌など、災害時に想定される複合的な空気汚染リスクを低減。

3. 感染症リスクの低減

密閉・密集環境でも清浄な外気を取り込み、室内空気を管理することで感染症拡大を抑制できる。

4. 非常時を想定した実用性

静音設計で長時間使用が可能。可搬性を備え、避難所や仮設空間、家庭など設置場所を選ばない。

5. 用途に応じたラインナップ

大規模・公共用途向けの高性能モデルから家庭・小規模空間向けの軽量・コンパクトモデルまで展開。



プロテクトアーツ株式会社 代表取締役 小熊正輝 コメント

このたび、ジャパン・レジリエンス・アワード最優秀賞を受賞できたことを光栄に思います。ご支援いただいた皆様に心より感謝申し上げます。ATバリアはNBC対応に加え脱臭性能にも優れ、防災・防衛・病院・避難所などから具体的な引き合いをいただいております。現在、ポーランドやアメリカへの輸出も最終段階に入っています。今後は一酸化炭素除去機能をさらに強化し、「空気の防衛」を社会に実装してまいります。

メディアの皆様取材いただけること

- ・ 実機デモンストレーション（煙充満から空気清浄までの実演）
- ・ ATバリアシリーズの実機および防爆バルブの展示撮影
- ・ 操作パネル・可搬型ユニットの可動撮影
- ・ 開発担当者および小熊代表取締役への単独インタビュー
- ・ 名古屋大学・朝倉裕介准教授による共同開発コメントの共有（※事前調整により対応可）
- ・ 緊急シェルター・避難所・医療福祉施設における空気環境対策の必要性についての解説

記事や取材のお問い合わせ

プロテクトアーツ株式会社

札幌市中央区北6条西23丁目1-12
広報担当 山田 (080-1165-8563)

▼会社HP



▼過去掲載記事



プロテクトアーツ シェルター